

鹿角市部活動地域移行推進委員会

令和7年度 第1回会議資料

令和7年5月27日（火）

鹿角市教育委員会

目 次

- (1) これまでの取り組みについて..... P 1~ 3
- (2) 令和7年度の取り組みについて..... P 4~12
- (3) 情報共有 P 13~15
- (4) 今後のスケジュール P 16

(1) これまでの取り組みについて

令和4年度

2月～3月 児童生徒・保護者・教職員アンケートの実施

令和5年度

4月 1日 鹿角市部活動地域移行検討委員会設置

5月25日 第1回鹿角市部活動地域移行検討委員会開催 現状と課題の共有、児童生徒・保護者・教職員アンケート結果報告

7月～8月 スポーツ団体アンケートの実施

8月29日 第2回鹿角市部活動地域移行検討委員会開催 課題整理、アンケート結果報告、地域移行イメージに対する意見収集

12月 8日 第3回鹿角市部活動地域移行検討委員会開催 県推進計画の説明、地域移行の方向性の協議

3月19日 第4回鹿角市部活動地域移行検討委員会開催 令和6年度の取り組みについて

令和6年度

4月～10月 モデル団体活動実証事業の実施 卓球、ソフトテニス、吹奏楽

5月31日 第1回鹿角市部活動地域移行検討委員会開催 令和6年度の取り組みについて、コーディネーター業務報告

6月28日 第1回スポーツ分科会開催 検討状況報告、地域移行に向けた問題点・課題点の整理、今後のスケジュール共有

11月21日 第2回スポーツ分科会開催 アンケート結果報告、分科会意見とりまとめ

12月16日 第2回鹿角市部活動地域移行検討委員会開催 事業報告、推進計画骨子案協議、令和7年度の取り組みについて

3月11日 第3回鹿角市部活動地域移行検討委員会開催 鹿角市中学校部活動地域移行推進計画案協議

(1) これまでの取り組みについて

○令和6年度の取り組み

○部活動地域移行推進計画の策定
素案作成→検討委員会にて意見収集→R7.3策定

R7.1.27 鹿角市教育委員会会議にて計画案協議
R7.1.30～2.28 パブリックコメント募集 1件1名
R7.3.17 鹿角市教育委員会会議にて議決予定

○部活動指導員の配置

4名継続配置
・花輪中学校：陸上部、吹奏楽部
・十和田中学校：バスケットボール部
・八幡平中学校：バレーボール部

学校	部活動	令和4年度	令和5年度	令和6年度
花輪中学校	陸上部	102日210時間	96日202時間	93日210時間
花輪中学校	吹奏楽部	44日138時間	42日134時間	43日147時間
十和田中学校	バスケットボール部	115日210時間	85日148時間	59日135時間
八幡平中学校	バレーボール部	-	86日191時間	81日190時間

○地域移行コーディネーターの配置
学校（部活動）と関係団体、スポーツ協会、市教委との間で地域移行を進めるための協議や調整などを行う人員の配置（1名）

R6.4. 地域移行に関するリーフレット配布（生徒・保護者用、教職員用）
R6.8.23 かつのPTA連合会研修会説明
R6.12. 地域移行だより 第1号発行
R7.2. 地域移行だより 第2号発行
R7.2.28 鹿角中体連拡大役員会説明

○モデル団体活動実証事業

3つの運営形態を踏まえ、競技団体等からの協力を得て、実際に活動することによって生じる課題を整理し、地域にあった休日の部活動の地域移行の取組を検証する。

卓球 集合型・指導者派遣形式 3回実施（申込率27%）
①R6.7.20 参加者16人、②R6.11.16 参加者15人、③R6.12.7 参加者12人
ソフトテニス 集合型・指導者派遣形式 3回実施（申込率45%）
①R6.7.20 参加者40人、②R6.8.17 参加者25人、③R6.10.26 参加者31人
吹奏楽 集合型・合同部活動形式 3回実施
①R6.4.27 参加者28人、②R6.6.8参加者71人、③R6.11.16 参加者41人

(1) これまでの取り組みについて

○令和6年度の取り組み

○スポーツ分科会による検討

第1回 R6.6.28
取組イメージなどの情報共有、
団体の意向確認

第2回 R6.11.21
分科会の意見とりまとめ

1. 地域移行への不安や懸念、課題等
 - ①地域の指導者の立場や処遇
 - ②トラブルが起こった際の責任の所在
 - ③活動費の徴収や指導者への支払い
 - ④活動場所の利用調整や学校との調整
 - ⑤指導者は派遣できるが、事務処理は難しい
 - ⑥活動費の財源となる会費や負担金の決定や徴収、指導者の報酬額など運営に関する必要条件等の決定
 - ⑦平日に行われる部活動との指導の違い
 - ⑧用具などに係る費用
 - ⑨出場資格要件に関する周知
 - ⑩移行期限の提示
2. 活動基準について
 - ①第1・3日曜日の休業日については、秋田県独自の取り決めであるため、見直していただきたい
3. 地域移行への理解について
 - ①専門部及び競技団体への理解が必要不可欠であるため、会員が集まる総会などを通じて周知が必要

○指導人材の発掘

鹿角市スポーツ少年団本部事務委託（委託先：NPO法人鹿角市スポーツ協会）

(2) 令和7年度の取り組みについて

○取組内容

令和5年度

○部活動地域移行検討委員会

- 1回目（5月）現状と課題の共有
- 2回目（8月）課題整理、イメージ案協議
- 3回目（12月）県計画説明、先進事例紹介
- 4回目（3月）次年度の取組内容

○部活動指導員の配置

- 3名継続、1名新規配置
- ・花輪中学校：陸上部、吹奏楽部
 - ・十和田中学校：バスケットボール部
 - ・八幡平中学校：(新)バレーボール部

令和6年度

○部活動地域移行検討委員会

- 1回目（5月）新年度事業の取組内容
- 2回目（12月）モデル団体実証事業報告
スポーツ分科会報告
市推進計画骨子案審議
- 3回目（3月頃）市推進計画案審議
次年度の体制

○スポーツ分科会の設置による検討

- 1回目（6月）現状と課題の共有
- 2回目（11月）分科会意見とりまとめ

○部活動地域移行推進計画の策定

素案作成→検討委員会にて意見収集→R7.3策定

○部活動指導員の配置

- 4名継続配置
- ・花輪中学校：陸上部、吹奏楽部
 - ・十和田中学校：バスケットボール部
 - ・八幡平中学校：バレーボール部

○地域移行コーディネーターの配置

学校（部活動）と関係団体、スポーツ協会、市教委との間で地域移行を進めるための協議や調整などを行う人員の配置（1名）

○モデル団体活動実証事業

3つの運営形態を踏まえ、競技団体等からの協力を得て、実際に活動することによって生じる課題を整理し、地域にあった休日の部活動の地域移行の取組を検証する。

令和7年度

○部活動地域移行推進委員会

- 1回目（5月頃）新年度事業の取組内容
- 2回目（3月頃）モデル団体実証事業報告
次年度の体制

○スポーツ分科会による検討

- 1回目（6月頃）取組事例共有、団体支援策検討
- 2回目（10月頃）次年度の体制

○指導者バンク等の創設検討

○部活動地域移行推進計画に基づいた取組の実施

計画期間：令和7年度～令和12年度

○部活動指導員の配置

- 4名継続、2名新規配置
- ・花輪中学校：陸上部、吹奏楽部
 - ・十和田中学校：バスケットボール部
 - ・尾去沢中学校：(新)吹奏楽部
 - ・八幡平中学校：バレーボール部、(新)吹奏楽部

○地域移行コーディネーターの継続配置

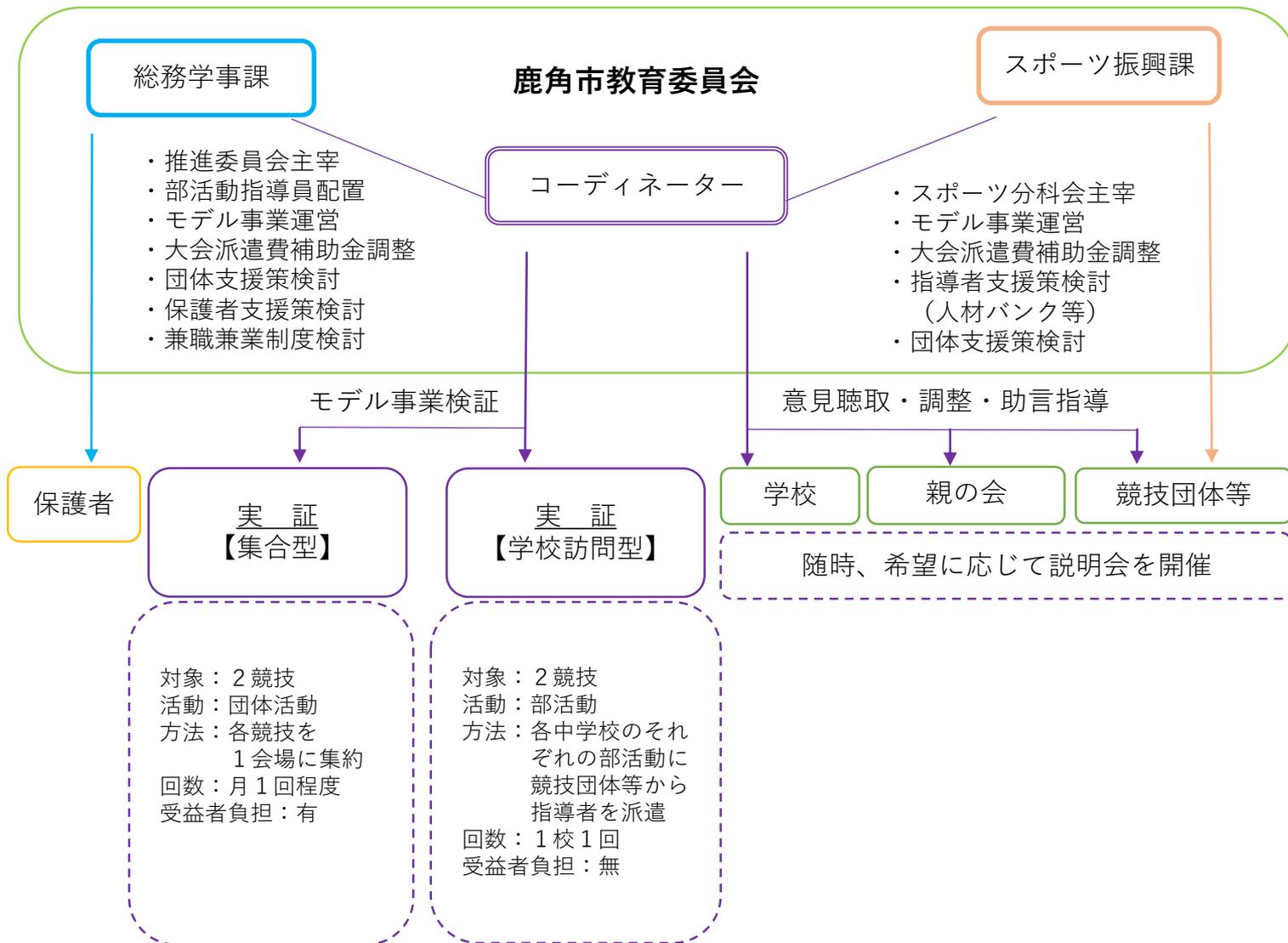
学校（部活動）と関係団体、市教委との間で地域移行を進めるための協議や調整と定期的な情報発信（通信等）

○モデル団体活動実証事業

- 【集合型】2団体
参加者が1会場に集合して競技団体の指導者から指導を受ける
- 【学校訪問型】2団体
競技団体等から指導者を各中学校に派遣する

(2) 令和7年度の取り組みについて

○取組体制



(2) 令和7年度の取り組みについて

○部活動地域移行コーディネーターの年間スケジュール

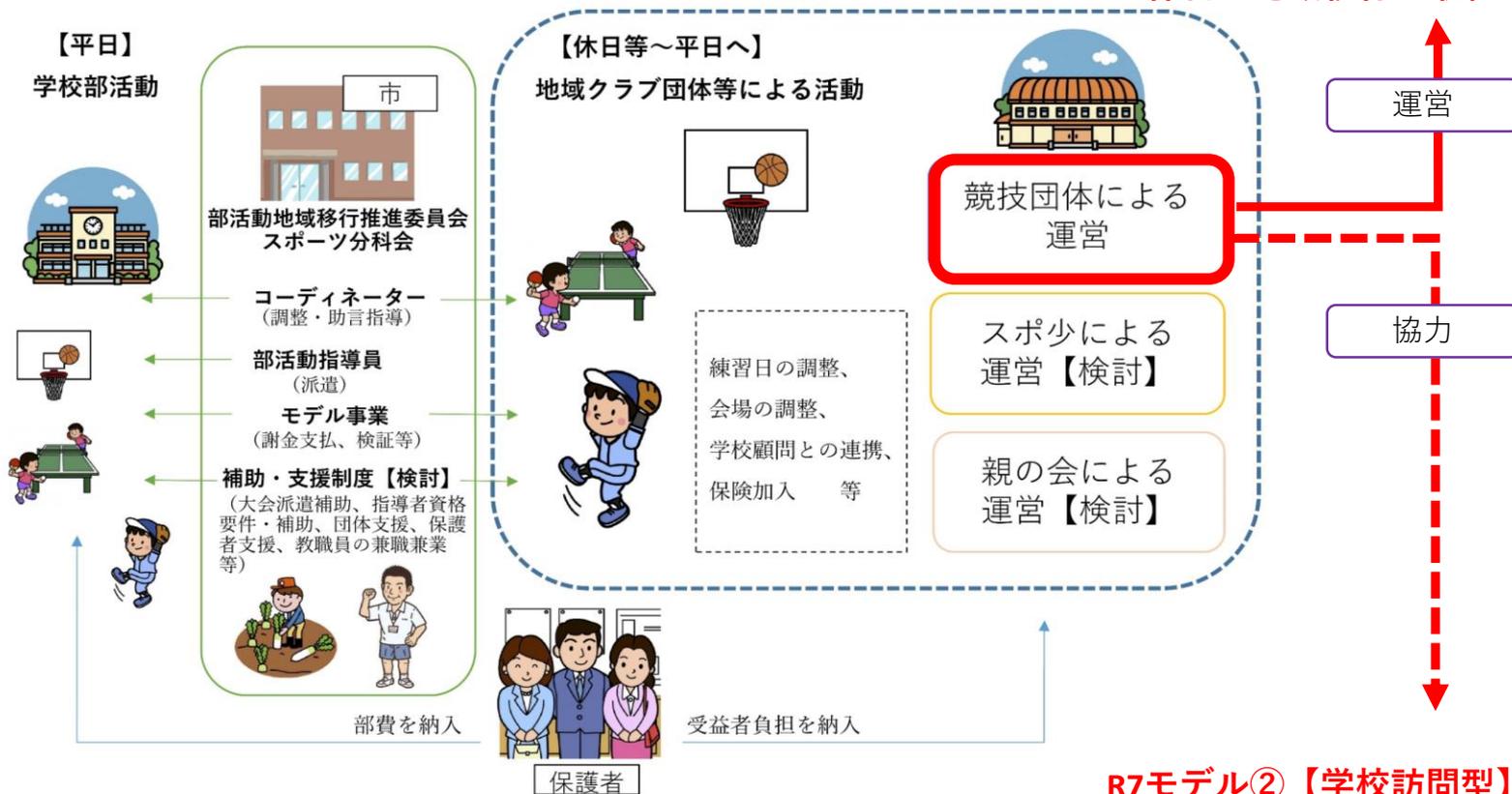
月別	①推進委員会	②学校・保護者との連携	③競技団体協議	④モデル団体活動実証事業	⑤地域移行だよりの発行	⑥その他 調整等 [随時]	
令和7年	4月	第1回開催準備	学校別・部活動別生徒数調査 モデル事業実施期日等の調整 保護者説明会 [随時対応]	モデル団体(4団体)活動計画 の確認、調整、助言 参加者とりまとめ	第3号 令和7年度モデル事業実施概要 第4号 令和7年度モデル事業募集要項	○担当(学事・スポ振)打合せ [月1回]	
	5月	第1回開催 (令和7年度業務説明) スポーツ分科会①開催準備	モデル事業実施に伴う連絡調整	競技団体(17+スポ少本部1) の活動状況の把握と整理	活動状況確認、助言等	○国・県・他市町村等の状況整理	
	6月	スポーツ分科会①開催 (令和7年度業務説明)		↓		○鹿角中体連各専門部・鹿角市ス ポーツ協会等との情報交換	
	7月			スポーツ分科会以降の協議 (訪問調査)		第5号 モデル事業(集合型)中間報告	○指導者バンク創設に向けた協議
	8月				参加者アンケート作成・ 依頼		
	9月	スポーツ分科会②開催準備		↓			
	10月	スポーツ分科会②開催 (令和7年度業務報告、令和8 年度の体制)	次年度モデル事業に関する 学校との調整	次年度モデル事業実施団体との 調整	中間報告整理(活動状況、 アンケート集計等)		
	11月		新1年生保護者説明会 (要望に応じて企画)		次年度事業案作成	第6号 モデル事業(学校訪問型)報告	
12月		↓	↓	↓			
令和8年	1月						
	2月	第2回開催準備			事業報告の整理	第7号 令和8年度モデル事業概要	
	3月	第2回開催 (令和7年度業務報告、令和8 年度の体制)					

(2) 令和7年度の取り組みについて

○モデル団体活動実証事業

R7モデル①【集合型】
(2団体×月1回程度)

⇒休日の地域移行の取組を検証



R7モデル②【学校訪問型】
(2団体×4校各1回)

⇒休日の地域連携の取組を検証

(2) 令和7年度の取り組みについて

○モデル団体活動実証事業

① 集合型（地域クラブ活動）：卓球・ソフトテニス

◎実施回数 年10回程度（R6は年3回）。

◎会費・参加費・保険料等の受益者負担あり。

◎生徒の参加は任意（希望者のみ）。「卓球」は、卓球部以外の生徒も申込み可能。

○地域クラブ活動を実施する週末（土日）は、当該競技の学校部活動は休み。

○学校の部活動ではないので、顧問は参加しない。

② 学校訪問型（地域連携による部活動）：野球・吹奏楽

◎各校で実施する通常の部活動に地域の指導者が参加し、指導に当たる。

○学校の部活動なので、生徒（部員）は原則として全員参加となり、顧問の指導あり。

(2) 令和7年度の取り組みについて

○モデル団体実証事業①-1

集合型（地域クラブ活動）「卓球」

- ・「NPO鹿角くらすた」との共催事業
- ・会費等：くらすた会員 年会費1,500円+保険料800円+各回参加料@100円
くらすた非会員 年会費 0円+保険料800円+各回参加料@500円
- ・募集方法：4月「地域移行だより第3号」にて学校を經由して周知。オンライン受付。

	令和6年度	令和7年度
申込人数	花中：男子7人、女子4人 十中：男子5人、女子1人 尾中：女子1人 計18人	花中：男子4人、女子2人 十中：男子4人、女子1人 尾中：女子1人 卓球部以外：1人 計13人
申込率	1年生 59% 2年生 36% 3年生 8% 全体27%	1年生 14% 2年生 33% 3年生 38% 全体28%



(2) 令和7年度の取り組みについて

○モデル団体実証事業①-2

集合型（地域クラブ活動）「ソフトテニス」

- ・「鹿角市ソフトテニス協会」との共催事業
- ・会費等：年会費3,500円（保険料含む）
- ・募集方法：4月「地域移行だより第3号」にて学校を經由して周知。オンライン受付。
- ・募集対象：各校ソフトテニス部員

	令和6年度	令和7年度
申込人数	花中：男子 8人、女子 9人 十中：男子 6人、女子 12人 八中：男子 10人 計45人	花中：男子 14人、女子 10人 十中：男子 2人、女子 6人 八中：男子 6人 計38人
申込率	1年生 44% 2年生 64% 3年生 21% 全体45%	1年生 55% 2年生 68% 3年生 13% 全体42%



(2) 令和7年度の取り組みについて

○モデル団体実証事業②-1

学校訪問型「吹奏楽」

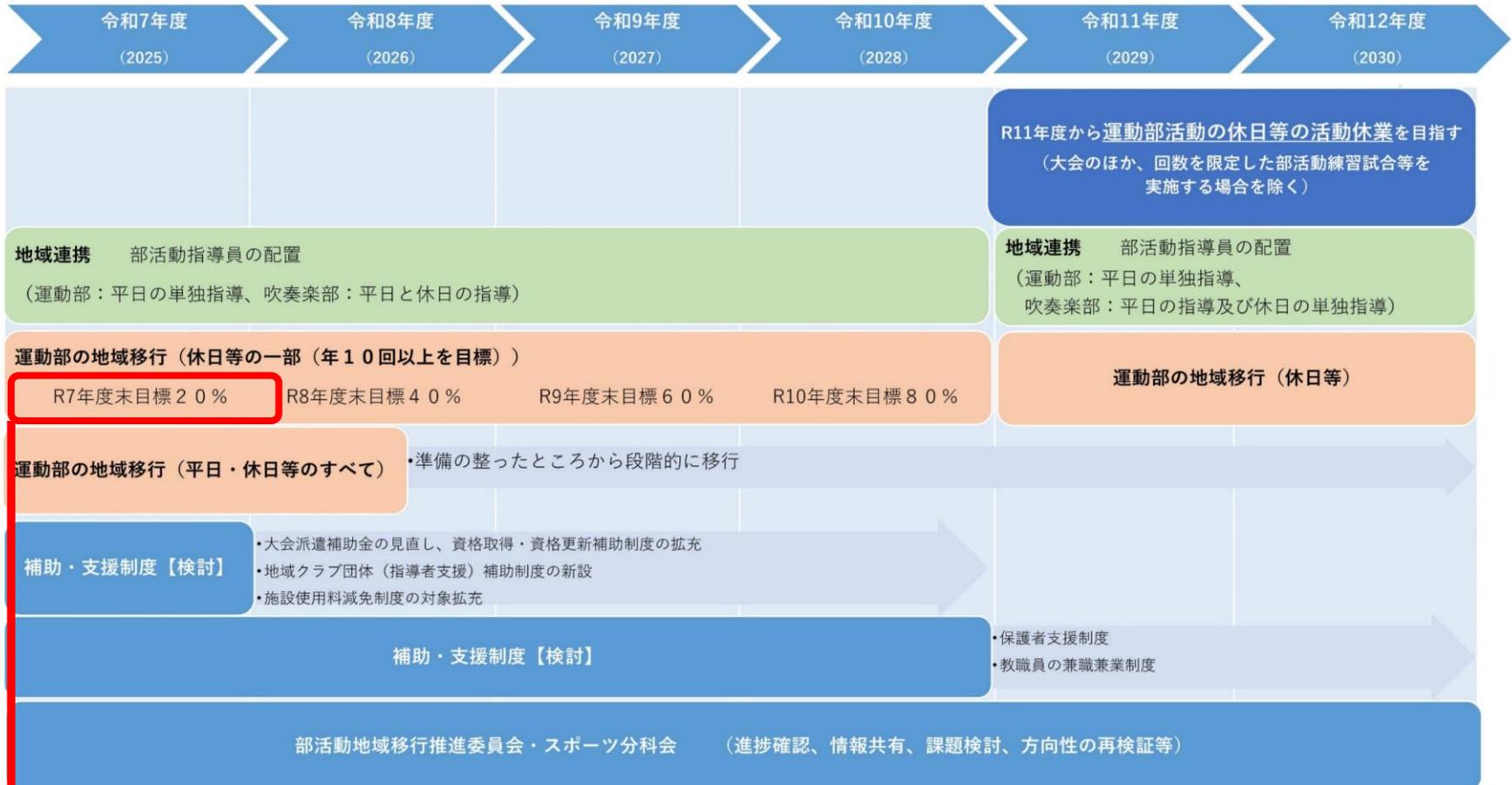
・会場及び回数：各中学校にて各1回

	令和6年度	令和7年度
開催形態	【集合型】 鹿角地区吹奏楽連盟による合同部活動形式の「楽器講習会」	【学校訪問型】 上津野ウインドアンサンブルより指導者を派遣



(2) 令和7年度の取り組みについて

○移行スケジュール



休日等に地域クラブ活動を実施した数※1	／	運動部活動数※2	=	達成率
【見込み】 11部活	／	29部活	=	37.9%
(剣道1+卓球3+ソフトテニス5+スキー-2)		(陸上4+剣道1+ソフトテニス5+卓球3+バスケ5+バレー3+野球4+スキー-4)		

※1：年10回以上、地域クラブ活動の実施により休日等の部活動を行わなかった部活動数（モデル事業を含む）
 ※2：各中学校に設置している運動部活動数（ソフトテニス・バスケボールは男女別）

(3) 情報共有

○国による部活動改革の方向性

・秋田さきがけ新報による報道抜粋

R7.5.16

スポーツ庁・文化庁

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ

- ①2026年度（令和8年度）から2031年度（令和13年度）までの6年間を「改革実行期間」とする。
- ②2031年度（令和13年度）までに休日は全ての部活動で移行を目指す。
- ③「地域移行」⇒「地域展開」

第3種郵便物認可

秋田さきがけ

20

部活動の地域移行に関する有識者会議の提言のポイント

- ・2026年度からの6年間を「改革実行期間」とする
- ・26年度から休日に加えて平日でも取り組みを進める
- ・31年度までに休日は全ての部活動で移行を目指す
- ・「地域移行」を「地域展開」と名称変更
- ・民間クラブでの活動費について、保護者負担額の目安を示すよう国に求める
- ・クラブの信頼性を国と地方公共団体で担保する仕組みの構築を要請

有識者会議提言

休日、31年度まで地域移行

全ての公立中部活動で

公立中学校の部活動を地域のスポーツ団体などに委ねる「地域移行」に関し、スポーツ庁と文化庁の有識者会議は16日、提言を取りまとめ、休日は2031年度までに全ての部活動での移行を目指すことを盛り込んだ。26年度からの6年間を「改革実行期間」と設定し、平日の取り組みを進める。少子化や教員の過大な負担を背景とした部活動改革は想定より長期化しているものの、新たな段階に入る。

課題解決は道半ば

公立中学校の部活動改革に向けた国の有識者会議が16日に取りまとめた提言は、休日への地域移行の達成時期を2031年度と明記した。ただ、地域クラブなどの態勢整備や指導者確保などの課題解決は道半ば。自治体の進捗には差があり、ある委員は「二極化してきた」と漏らす。

昨年5、6月に全国自治体を対象とした国の調査によると、運動部活動の地域移行を推進する計画を既に策定、または24年度中に策定予定としたのは51%と約半数。39%は検討中、10%は「予定なし」と回答した。課題として挙げられた項目は、「指導者の量の確保」が最も多かった。

地域移行とは違い、熊本市は3月、学校を拠点とした部活動継続する方針を定めた。受け皿の総合型地域スポーツクラブが全域をカバーできないことが背景にあり、希望する教員に平日も報酬を払って指導してもらおう内容を盛り込んだ。同市教育委員会の担当者は「地域移行が悪いと思っているのではない。部活動の教育的意義を考えた」と説明した。

有識者会議でも「心配する保護者の声が多く聞かされてきた。丁寧な説明を」との意見が出た。一方、少子化によって学校単位の部活動は限界を迎えている。スポーツ庁の室伏広治長官は「また、あくまでスタート地点。ピンチをチャンスに変え、改革を進める」と決意を述べた。

※秋田さきがけ新報 令和7年5月17日掲載

(3) 情報共有

○学校別部活動生徒数（令和7年度）

（令和7年4月18日現在）

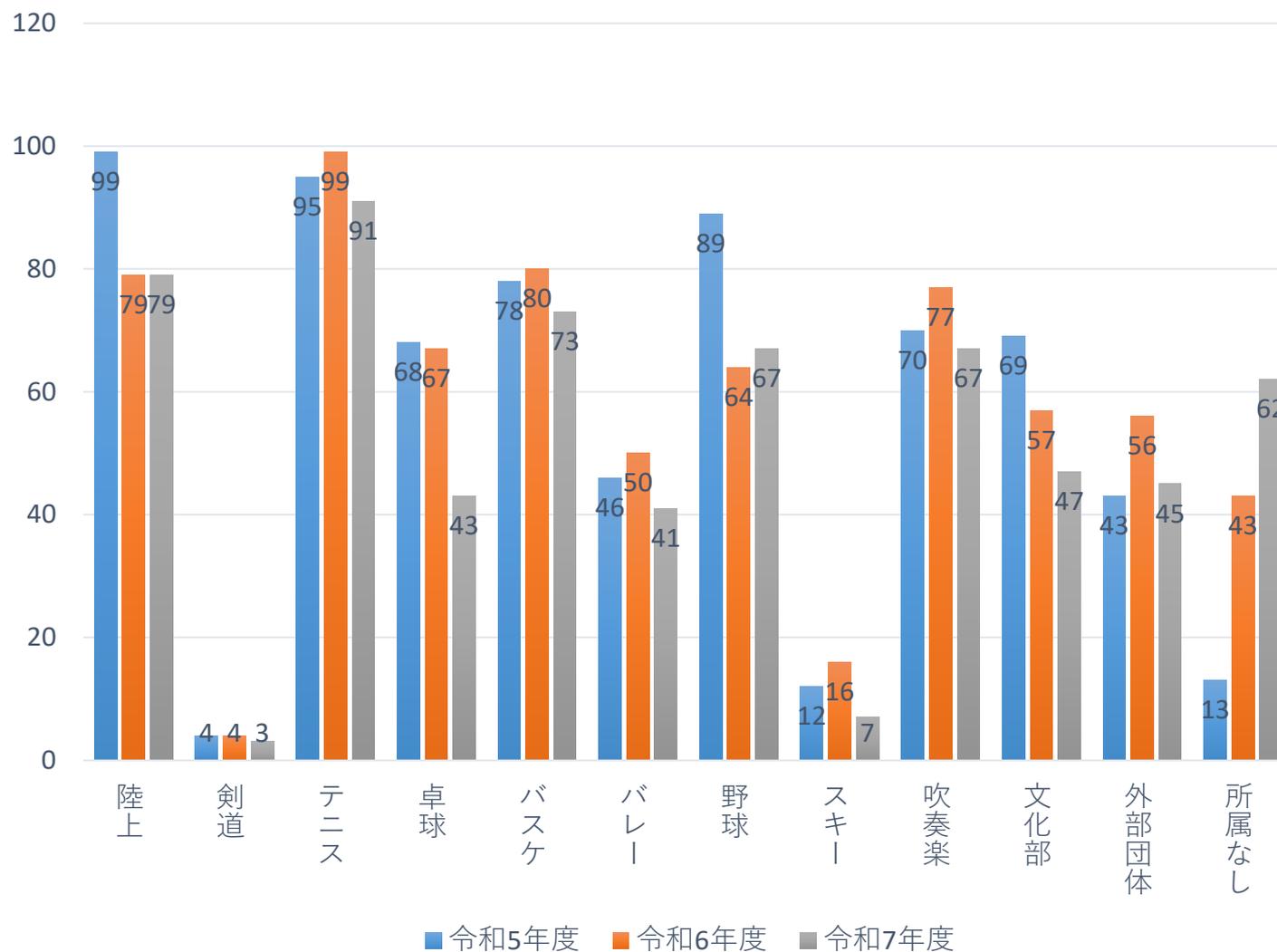
		陸上		剣道		ソフトテニス		卓球		バスケットボール		バレーボール		野球		スキー		吹奏楽		文化部		外部団体		所属なし		延べ人数	在籍生徒数
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
花輪中学校	1年	7	9			11	8	5	3	2	3	0	5	8	1	1	1	0	5	1	8	4	2	3	4	91	87
	2年	7	10			7	7	6	6	11	7	0	4	6	0	0	1	1	8	2	10	8	3	7	4	115	108
	3年	3	6			10	7	4	4	7	6	0	3	9	0	1	0	1	12	3	6	7	1	5	7	102	96
十和田中学校	1年	3	4			2	1	6	0	2	8		8	10	0	0	0	4	5	1	1	3	0	6	4	68	68
	2年	1	1			7	6	3	0	2	5		11	9	0	1	0	2	2	0	2	4	0	3	3	62	61
	3年	3	9			7	9	4	1	6	6		2	6	0	0	0	0	3	2	11	4	1	2	1	77	75
尾去沢中学校	1年	2	4					0	0					3	0	1	0	1	0			0	1	0	0	12	11
	2年	5	0					0	1					0	0	0	0	1	1			1	0	0	3	12	12
	3年	1	0					0	0					4	0	0	0	1	4			2	0	0	0	12	12
八幡平中学校	1年	1	1	1	0	0					1		2	4	2	0	0	1	3			1	0	0	1	18	16
	2年	1	0	0	1	4					5		2	2	0	0	0	0	6			0	1	0	3	25	24
	3年	0	1	0	1	5					2		4	2	1	0	1	1	5			1	1	4	2	31	30
男女別（小計）		34	45	1	2	53	38	28	15	30	43	0	41	63	4	4	3	13	54	9	38	35	10	30	32	625	600
部活動別（合計）		79		3		91		43		73		41		67		7		67		47		45		62			

【R6→R7増減】

		陸上		剣道		ソフトテニス		卓球		バスケットボール		バレーボール		野球		スキー		吹奏楽		文化部		外部団体		所属なし		延べ人数	在籍生徒数		
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子				
R6男女別		38	41	2	2	57	42	40	27	36	44	4	46	60	4	9	7	11	66	15	42	37	19	18	25	692	646		
R7男女別		34	45	1	2	53	38	28	15	30	43	0	41	63	4	4	3	13	54	9	38	35	10	30	32			625	600
R6→7増減		-4	+4	-1	±0	-4	-4	-12	-12	-6	-1	-4	-5	+3	±0	-5	-4	+2	-12	-6	-4	-2	-9	+12	+7				
R6合計		79		4		99		67		80		50		64		16		77		57		56		43		625	600		
R7合計		79		3		91		43		73		41		67		7		67		47		45		62					
R6→7増減		±0		-1		-8		-24		-7		-9		+3		-9		-10		-10		-11		+19		-67	-46		

(3) 情報共有

○種目別部活動生徒数（令和7年度）



(4) 今後のスケジュール

令和7年度

第1回推進委員会（本日）

推進委員委嘱

昨年度までの検討内容と令和7年度の取り組みについて

モデル団体活動実証事業（5～12月頃）

集合型 2団体（卓球・ソフトテニス）×年10回

学校派遣型 2団体（野球・吹奏楽）×4校各1回

第1回スポーツ分科会（6月頃） 分科会会員委嘱

情報共有、指導人材の発掘や人材バンク制度に係る協議

スポーツ競技団体との協議（6～9月頃）

地域移行の受け皿や移行体制についての協議

第2回スポーツ分科会（10月頃）協議内容等報告、次年度の体制

第2回推進委員会（3月頃）

次年度の体制、市推進計画進捗報告